

【AI】

AIの進歩は、今まで人が行っていたことの大半をAIがやってくれるようになり、豊かな生活を享受することができるようになると期待されている。その反面、今の仕事の多くはAIにとって代わられるという懸念もある。

あるテレビ番組の中で、司法に関して、「様々な法律や膨大な過去の判例を記憶し、量刑などを判断する弁護士や判事などの仕事は、これからはAIが活躍するのではないか。」というコメントがなされた。現に、国によっては「意思決定を自動化するAIのソフトウェアは、判事が量刑を決める参考に使われている。」ことが雑誌の記事にある。

それに対して、弁護士資格を持つ女性コメンテーターからは、「AIは女性に対してや人種によっては偏った判断を下しますよ。」との反論があった。

アメリカのある大学が研究の結果、AIに言葉から連想するイメージを答えさせたところ、人種や性別などに対する偏見が人間と同じようにあることが分かったそうだ。原因として考えられるのは、AIが機械学習で言語を習得するには、ネット上の膨大な言葉や言い回しをデータとして読み込み、自らのパターンを学ぶ。ネット上の言葉に偏りが潜んでいたからこそ、AIはそれごと学習したと書いてあった。

我々にしっかりとした人権感覚がないと、AIと一緒に差別をしてしまうかもしれない。

(竹下)

「過ちを繰り返さないために」

ハンセン病元患者の家族への賠償を国に命じた熊本地裁判決が確定した。原告団と面会した安倍首相は、「皆様のご大切な人生において苦痛と苦難を強いることになってしまった。政府を代表し心からおおむねお詫言します。」と謝罪した。そして、新たな補償制度の創設に向けて立法措置を講じることを明言し、家族側との協議の場を設ける考えも示した。

「恥でないものを恥とするとき、それは本当の恥となる」この一心で長い間ハンセン病の問題を訴えてきた原告団の団長、林力さん。首相の言葉を受け、「誤った認識を正す啓発と教育に、当事者の私たちの声を生かしながら、国の総力を挙げて取り組んでもらいたい。」と注文をつけた。

さて、国は謝罪したが、私たち一人ひとりはどうすべきか。同じ過ちを繰り返さないために、自分には遠いこと、関係ないこととして片付けてはならない。ハンセン病の正しい理解に努めることが何よりも大切である。それも、林力さんが言われたように、当事者の声を生かす＝ハンセン病を患った方々とその家族のつらい状況を理解し、心の痛みに寄り添う態度や行動が示されなければならないと考える。

人権啓発に携わる者として、その責任は重い。

(大戸)

CONTENTS「主な内容」

- ハートフルフェスタ 1P
- ハートフルフェスタ(西鉄ホール・ゼファ会場イベント) 2P
- ハートフルフェスタ(タイムテーブル・交流ブース) 3P
- 人権啓発推進指導員のコーナー・人権擁護委員表彰ほか 4P



ハートフルフェスタ 福岡2019

街がハートでいっぱいになる1日

10月6日(日) 入場無料

場所 西鉄ホール会場(ソラリアステージ6F)

(事前申込制)

13:30~15:00

ロバート キャンベル 講演 テーマ「ちがいを持つ人々との素敵な日々に向けて」



プロフィール

ニューヨーク市出身の日本文学研究者。専門は江戸・明治時代の文学、特に江戸中期から明治の漢文学、芸術、思想などに関する研究を行う。テレビでMCやニュース・コメンテーター等をつとめる一方、新聞雑誌連載、書評、ラジオ番組出演など、さまざまなメディアで活躍。

【主な出演番組】

「スッキリ!!!」(日本テレビ系)コメンテーター 「Face to Face」(NHK国際放送) 他

【主な編著】

「ロバート キャンベルの小説家神髄 現代作家6人との対話」(NHK出版)
「J」ブンガク 英語で出会い、日本語を味わう名作50」(東京大学出版会) 他

ココロン映画会

～映画を通して「外国人」の“人権”を考えてみませんか～

上映作品 ◆僕の帰る場所◆ (2017年/98分) ◆焼肉ドラゴン◆ (2018年/126分) ※字幕あり

監督・脚本:藤元 明緒 ※字幕あり
2017年第30回東京国際映画祭「アジア未来」部門作品賞および国際交流基金アジアセンター特別賞を受賞。難民申請中の在日ミャンマー人家族に起こった実話をベースにした映画。難民認定制度、在日外国人の雇用・言語・教育等の問題が描かれている。

監督・原作・脚本:鄭 義信(在日3世) 韓国人俳優5名出演
2008年の数々の演劇賞を受賞した鄭義信監督自身の人気劇曲「焼肉ドラゴン」の映画化。1970年代の関西が舞台。小さな焼肉店「焼肉ドラゴン」を営む在日コリアン家族の物語です。

日時 令和元年10月19日(土)

- 13:00~14:40「僕の帰る場所」
- 15:10~17:20「焼肉ドラゴン」
- ※12:30 開場(入れ替えなし)

会場 福岡市健康づくりサポートセンター(あいれふ)10階ホール

福岡市中央区舞鶴2丁目5番1号

定員 各回とも250名(先着順) 入場無料

※事前申込み不要。ただし、定員に達した場合は、入場できません。

問い合わせ先

福岡市人権啓発センター「ココロン映画会担当」

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2丁目5番1号 あいれふ8階

TEL 092-717-1237 FAX 092-724-5162

交通案内

- 福岡市営地下鉄(空港線)「赤坂駅」3番出口徒歩6分
- 西鉄バス 那の津通り「長浜2丁目」バス停より徒歩3分
昭通通り「法務局前」バス停より徒歩5分
明治通り「赤坂門」バス停より徒歩6分

人権擁護委員が表彰されました

令和元年5月24日(金)、福岡市で開催された福岡県人権擁護委員連合会総会において、多年にわたって人権擁護活動にご尽力された人権擁護委員に対する表彰が行われ、福岡市から下記の方が表彰されました。

全国人権擁護委員連合会長表彰 今井 邦彦 様(早良区)

「ココロンセンターだより」No.77 発行:令和元年9月

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2丁目5番1号健康づくりサポートセンター(あいれふ)8階
E-mail:jinkenkeihatsu.CAB@city.fukuoka.lg.jp

福岡市人権啓発センター
TEL092(717)1237 FAX092(724)5162

ココロンセンター 福岡 検索



TEL092(717)1247(人権啓発相談室では人権問題に関する相談及び、研修会や学習内容に関する相談を受け付けています)

法務省委託事業

場所 ゼファ会場(ソラリアプラザ1F)

13:00~14:00

東 ちづる トークショー テーマ「Let's まぜこぜの社会」～浅く広くゆるくつながろう～



プロフィール

女優。一般社団法人 Get in touch 理事長。広島県出身。会社員生活を経て芸能界へ。ドラマから情報番組のコメンテーター、司会、講演、出版など幅広く活躍。プライベートでは骨髄バンクやドイツ平和村、障がい者アート等のボランティアを25年以上続けている。2012年10月、アートや音楽、映像等を通じて、誰も排除しない、誰もが自分らしく生きられる“まぜこぜの社会”を目指す、一般社団法人「Get in touch」を設立し、代表として活動中。自身が企画・インタビュー・プロデュースの記録映画「私はワタシ～over the rainbow～」が順次上映。

【著書】

- 「(私)はなぜカウンセリングを受けたのか～「いい人、やめた!」母と娘の挑戦」(マガジンハウス)
- 「らいふ」(講談社)
- 「わたしたちを忘れないで～ドイツ平和村より」(ブックマン社) 日本図書館協会選定図書 他

【受賞】

- 2000年 TOYP(トイップ)大賞・厚生大臣奨励賞(日本青年会議所)
- 2003年 放送ウーマン賞(日本女性放送者懇談会)
- 2013年 第11回グッドエイジャー賞(日本メンズファッション協会)

主催/ハートフルフェスタ実行委員会 共催/福岡・筑紫地域人権啓発活動ネットワーク協議会
お問い合わせ・事務局/福岡市人権啓発センター TEL:092-717-1237 FAX:092-724-5162

上映作品 ◆私はワタシ◆ ~Over the rainbow~ ※字幕あり

監督：増田玄樹 プロデューサー：東ちづる
上映時間/15:30~17:00



■LGBTsのリアルな声をつむいだ唯一無二のドキュメンタリー

誰も排除しない「なぜこぜの社会」をめざす一般社団法人 Get in touch(代表：東ちづるさん)は、LGBTs における啓発活動にも積極的に取り組んできました。LGBTs に関係する情報や取材記事をメディアで発信するなど、さまざまな個人・団体とつながりネットワークを広げてきました。そんな活動の中、東ちづるさんが50名のLGBTs 当事者にインタビューを行い、映画「私はワタシ over the rainbow」を制作しました。

さまざまなセクシュアルマイノリティが登場。はるな愛さんやピーターさんなどの有名人、社会運動にかかわってきた活動家など、多様な立場の人が、自分自身のこと、悩みや葛藤、社会の偏見や軋轢、生きづらさ、人権、愛などそれぞれの想いを語ります。さらに家族の声などももりこみ、ふだんなかなか聞くことができないリアルな証言をつめこんだ唯一無二のドキュメンタリー映画になりました。

全国で上映会を行っており、今回が九州では初めての上映となります。
また、15:15~東ちづるさんの舞台挨拶もあります。

ゼファ会場 ソリアプラザ1F

多彩なイベント

ワークショップ



木工ワークショップ

- 1回15名まで
- 30分前から事前整理券を配布します。
- ※参加費・材料費無料にて実施致します。



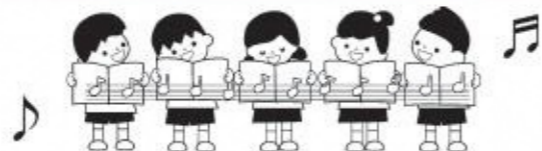
キーホルダー

iima (イーマ) 永山マキ&イシイタカユキ



「日常がちよっと違った景色に見える」
バンド「モダン今夜」のメンバーでもある、永山マキ(vo)とイシイタカユキ(g)による音楽ユニット。
CMソング作曲や、他アーティストへの作詞提供、ラジオDJ担当など、その活動は多岐にわたる。中洲JAZZや福岡市CMへの出演、FBSで放送中の人気コーナー「はじめまして赤ちゃん」のテーマソング歌唱、福岡のLOVE FMにて「iimaな時間」のパーソナリティを担当。東京と福岡を拠点に多くのアーティストとコラボしながら日々音楽制作を楽しんでいる。

和田幼稚園歌と踊り



香乃梨愛&山本沙英子 童謡ミニコンサート



10/6(日) タイムテーブル 各会場にてイベントを開催。ぜひお立ち寄りください。

時間	ゼファ会場	西鉄ホール会場
11:00~	iima(イーマ)アコースティックステージ	
11:30~	和田幼稚園 歌と踊り 人権キャラクター紹介	
12:00~	香乃梨愛&山本沙英子 童謡ミニコンサート	
12:30~	ワークショップ(キーホルダー)	
13:00~	東ちづる トークショー(60分)	13:00 開場
13:30~	ワークショップ(木工ワークショップ)	13:30~ 口パート キャンベル 講演(90分)
14:00~	iima(イーマ)アコースティックステージ	
14:30~	増井 心 エンディングライブステージ	
15:00~		15:30~ 映画上映「私はワタシ」(90分)
15:30~		
16:00~		
16:30~		

様々な活動の紹介や物販をしています。ぜひお立ち寄りください。

交流ブース

ゼファ会場(ソリアプラザ1F)・11:00~16:00

(順不同)

- ◆NPO法人ジェンダー平等福岡市民の会
- ◆NPO法人成年後見制度市民後見人養成活動・支援ネットワーク
- ◆治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟福岡県本部
- ◆障がい者より良い暮らしネット
- ◆博多ウィメンズカウンセリング
- ◆福岡市企業同和問題推進協議会
- ◆NPO法人福岡・翼の会
- ◆福岡人権擁護委員協議会
- ◆福岡市女性翼の会
- ◆福岡県いのちを守る会
- ◆福岡手話の会
- ◆沖縄差別をなくす会



物販

(順不同)

- ◆ラベンダーハウス
- ◆板屋学園このは
- ◆フリーダム福岡女性
- ◆ひまわり園
- ◆夢ぼけっと
- ◆芙蓉株式会社
- ◆自立の里 大地
- ◆福岡市立なのみ学園

交流ブース

西鉄ホール会場(ソリアステージ6F)・12:30~17:30

(順不同)

- ◆gid.jp日本性同一性障害と共に生きる人々の会九州支部
- ◆社会福祉法人福岡いのちの電話
- ◆公益社団法人福岡県人権研究所



ゼファ会場(ソリアプラザ1F)

福岡市中央区天神2丁目2番43号

西鉄ホール会場(ソリアステージ6F)

福岡市中央区天神2丁目11番3号

西鉄電車で
西鉄福岡(天神)駅中央口から連絡口(2, 3F)
高速バスで
西鉄天神高速バスターミナル⇒降車場出入口から連絡口(4, 5F)
地下鉄で
市営地下鉄空港線天神駅⇒6番出口から徒歩4分
市営地下鉄七隈線天神南駅⇒3番出口から徒歩4分



お知らせ 10月5日(土) 人権に関する団体主催の講演会

会場(あいれふ8F視聴覚室/福岡市中央区舞鶴2丁目5番1号)

- 10:30~12:00 「物語の中の人権」講師：富原美智子 語り会「ことのは」
- 14:00~15:30 「円ブリおいきいき講座 胎児は社会の一員です。」講師：桃井 雅子(聖マリア学院大学看護学部教授)はかたいのちを大切にす会

ハートフルフェスタ 福岡実行委員会

NPO法人福岡市障害者関係団体協議会/公益財団法人福岡よかトピア国際交流財団/公益社団法人福岡市老人クラブ連合会/福岡市七区男女共同参画協議会/福岡市民生委員児童委員協議会/福岡人権擁護委員協議会/部落解放同盟福岡市協議会/ハートフルフェスタ福岡企画委員会/福岡法務局/福岡市